

学校評価だより 1

和みの学び舎 東玉川小学校 学校評価委員会 事務局

コミュニティスクール（地域運営学校）！ ～地域とともにある学校～

東玉川小学校は、平成17年に地域運営学校推進校に選ばれた。日本でもほぼ最初に地域運営学校としての歩みを始めた学校です。平成28年には、これまでに取り組んだ本校始め多くの取り組みを元にして、世田谷区（全小中学校）、青森県（十和田市）、石川県（かほく市）、山口県（全小中学校）など、417校増の2806校が文部科学省の指定を受けて取り組んでいます。平成28年度からは、学校支援地域本部の機能も備え、今年度も引き続き、地域、保護者の方々と学校が連携してよりよい教育活動を進めています。

「和みの学び舎」で 小・中学校の連携

世田谷区は、小学校中学校で様々な連携をしています。その一つが「学び舎」です。地域ごとにいくつかの小・中学校でグループを組み、児童生徒の継続した指導や、学習指導等の共通理解、指導の徹底、スムーズな接続を見越した連携授業を行っています。

生活指導に力を入れています。

児童の規範意識や、マナーモラルの低下が社会問題となっています。本校では、児童の学習規律や道徳心を向上させるために様々な取り組みをしています。

★和みの学び舎ミニマム…奥沢小学校、奥沢中学校と同じ目標やめあてを設定しています。今年度は「あいさつや返事、ていねいなことばづかいを進んでする」を重点目標として、子どもたちに他者意識や自分事として考えることを徹底させていきます。

★毎週の目標を守れるよう教職員が連携して取り組んでいます。挨拶、思いやり、責任、基本的な生活習慣等、多岐にわたっています。ひがたまの子どもたちは、規範意識の高まりで、問題行動の減少が見られます。



キャリア教育

そもそもなぜキャリア教育が必要とされているのか？

本校だけではなく、世田谷区の小学校に通う児童の意識調査の傾向から、「学校の勉強で身に付けた知識や思考力などは、将来につながる」ことや「自ら社会に参画していこうとする意識」が低いことがわかっています。子どもたちの学びは、生涯にわたって連続していくものですが、それを自覚することが希薄ではないかということから、学校の教育活動の全てが子どもたち一人一人の将来に密接に関わっていることを実感し、自分の生き方を見つめてほしいという願いから力を入れています。

「キャリア・未来デザイン教育」とは…

子どもたちが社会や環境の変化などにも対応するちからや、自分の生き方をイメージし、なりたい自分に近づく力を身に付けるための教育です。国語や算数のような教科とともに子どもたちの生活の中で培っていきます。

キャリアパスポートの活用

→自らの学習状況やキャリア形成の見通し、振り返りを通した自己の変容や成長への気付きを促します。

キャリア教育で目指す4つの能力【社会的・職業的自立に向けた必要な能力・態度】

①【人間関係形成・社会形成能力】

→友達の良いところを見付ける力、お互いを大切にする力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど

②【自己理解・自己管理能力】

→自分の役割の理解、自分の良さに気付く力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、すすんで学ぼうとする力など

③【課題対応能力】

→情報の理解・選択・処理、さまざまな課題を発見したり、解決したりするための力や態度など

④【キャリアプランニング能力】

→学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来について考える力など

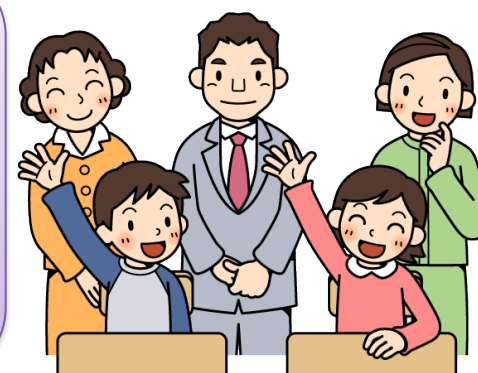
心とことばの学習（SST）

本校では、児童の対人関係やコミュニケーションスキルの向上を目指し、平成23年度より、系統的にソーシャルスキルトレーニング（SST）の取組を学び舎で連携して実施しています。年間を通して、あいさつ、伝える、聴く、ストレス、ルールと協力の5項目について全学級で実施しています。心の健康や情報モラルについても取り入れています。

学校協議会とは…

本校の学校協議会は、主に学校・地域の防災を担ってくださっています。

例えば避難所運営委員として、もしもの時のための準備等を行っています。30年以内に80%の可能性で大震災が起こるかもしれないと言われていることもあり、地域の安全を主体的に担ってくださっています。



デジタルシチズンシップ教育に基づき、 一人一台の学習用タブレットを活用します

子どもたちが協働的に学び、自ら考え、表現するために一人一台の学習用タブレットが配布されています。

本校では、次の3つの柱を意識させています。

①安全に使う ②責任をもって使う ③自分も相手(周囲)も大切にする

鉛筆やノート等の文房具と同じように使いこなせるように順次指導を進めています。児童一人一人が責任をもち、正しく使うことはどういうことなのか、誤った使い方はどういうことなのかを自分で考えて判断できるようにしていきます。

「せたがや探究的な学び」を目指して

「せたがや探究的な学び」

⇒多様な他者と共感・協働して、主体的に課題を解決していく学び

◎「非認知的能力」を育成します

⇒粘り強くやり抜く力・創造性や感性・自己肯定感

◎授業研究に取り組んでいます

- ・各教科等で知識及び技能を習得・活用する学習過程の工夫をしています。
- ・主体的・対話的で深い学びを実現するために学習形態を工夫していきます。
- ・情報機器の効果的な利活用を行います。

東玉川小学校ウェブサイトにて情報を掲載中！

<http://school.setagaya.ed.jp/higa/>

または、「世田谷 東玉川小」で検索してください。
アクセスをお待ちしております。

